

(様式 3)

公共事業再評価調書

番 号	道路－3	事業担当局課	保土ヶ谷区 保土ヶ谷土木事務所		
事 業 名	県道青砥上星川保土ヶ谷区上菅田町地内道路改良事業	採択年度	平成 12 年度		
施工場所	保土ヶ谷区上菅田町 566 番 1 から 744 番 1 まで	経過年数	20 年		
目的					
<p>県道青砥上星川は、JR 鴨居駅や相鉄西谷駅へのアクセス道路として、また近くの大規模団地と横浜駅西口を結ぶバス道路として重要な道路です。</p> <p>本地区は、通学路として利用されていますが、現況幅員が約 7 m と狭く歩道も無いため、歩行者が安全に通行出来ない状態であり、また交差点が変則で見通しも悪く、危険な状況になっています。歩道設置及び交差点改良を行い、歩行者の安全確保と車両交通の円滑化を図ります。</p>					
事業概要					
<p>県道青砥上星川</p> <p>延長 : 210m</p> <p>幅員 : 11m (車道 3.5m × 2、歩道 2m × 2)</p>					
目的及び 事業概要			当初(事業採択時)	変更(平成 21 年度)	
	事業期間		平成 12 年度～平成 15 年度	平成 12 年度～平成 25 年度	
	事業費	合 計	345 百万円	284 百万円	
		国 費	—	—	
		市 費	345 百万円	284 百万円	
変更内容		<p>関係地権者と用地買収に向けた交渉を進めてきましたが、交渉が難航しており、期間を要しているため事業期間を延伸しました。</p> <p>また、右折レーンを含む交差点改良を実施する計画でしたが、近隣交差点の信号現示を交差点の信号現示と合わせて処理することで、渋滞の緩和を見込めることがわかり、用地買収範囲を削減することができることが判明したため、計画を変更し、事業費も減額となっています。</p> <p>現在、関係地権者からの事業への協力が得られ、一部用地を残し、買収が実施できる予定です。</p>			
上位計画等		<p>横浜市中期 4 か年計画（2018～2021）の政策 20 「市民に身近な交通機能等の充実」の施策 2 で「歩行者の安全確保や地域の利便性の向上」を掲げています。本事業では、歩道整備により歩行者の安全性を向上させます。</p>			
関連事業		なし			

	事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>当初、本事業区間は、県道青砥上星川の交通量も多く、交差点において右折待ちの渋滞発生が頻発していました。また歩道もなかったため、歩行者の通行も危険な状態で、通学路でもあるため、スクールゾーン協議会からも安全対策の要望を再三、受けました。</p> <p>渋滞解消のため、右折レーン設置を含む交差点改良を進めてきましたが、近隣交差点の信号現示を交差点の信号現示と合わせて処理することで、渋滞の緩和を見込めることがわかつたため、右折レーン設置をなくす計画変更を実施しました。しかしながら、依然として歩行者の通行は危険な状況であるため、歩道整備に向けた用地買収・歩道整備を進めています。平成28年10月の港南区や令和元年5月の滋賀県大津市における交通事故を受け、通学路の安全対策は重要課題であり、歩道整備を迅速に進めていきます。</p>		
事業の必要性		事業全体	残事業	
	割引率	4%	—	
	総便益(B)	8.6億円	—	
	総費用(C)	3.6億円	—	
	費用便益比 (B/C)	2.4	—	
	感度分析 [交通量-10%]	1.6	—	
	〔定性的効果〕			
	本事業区間は歩道が整備されていないため、歩道を整備することで歩行者の安全性が向上します。また、歩行者が歩道を通行することにより、歩行者と車両の通行が分離されるため、交通混雑の緩和が図れ、バスの定時性向上に寄与します。			

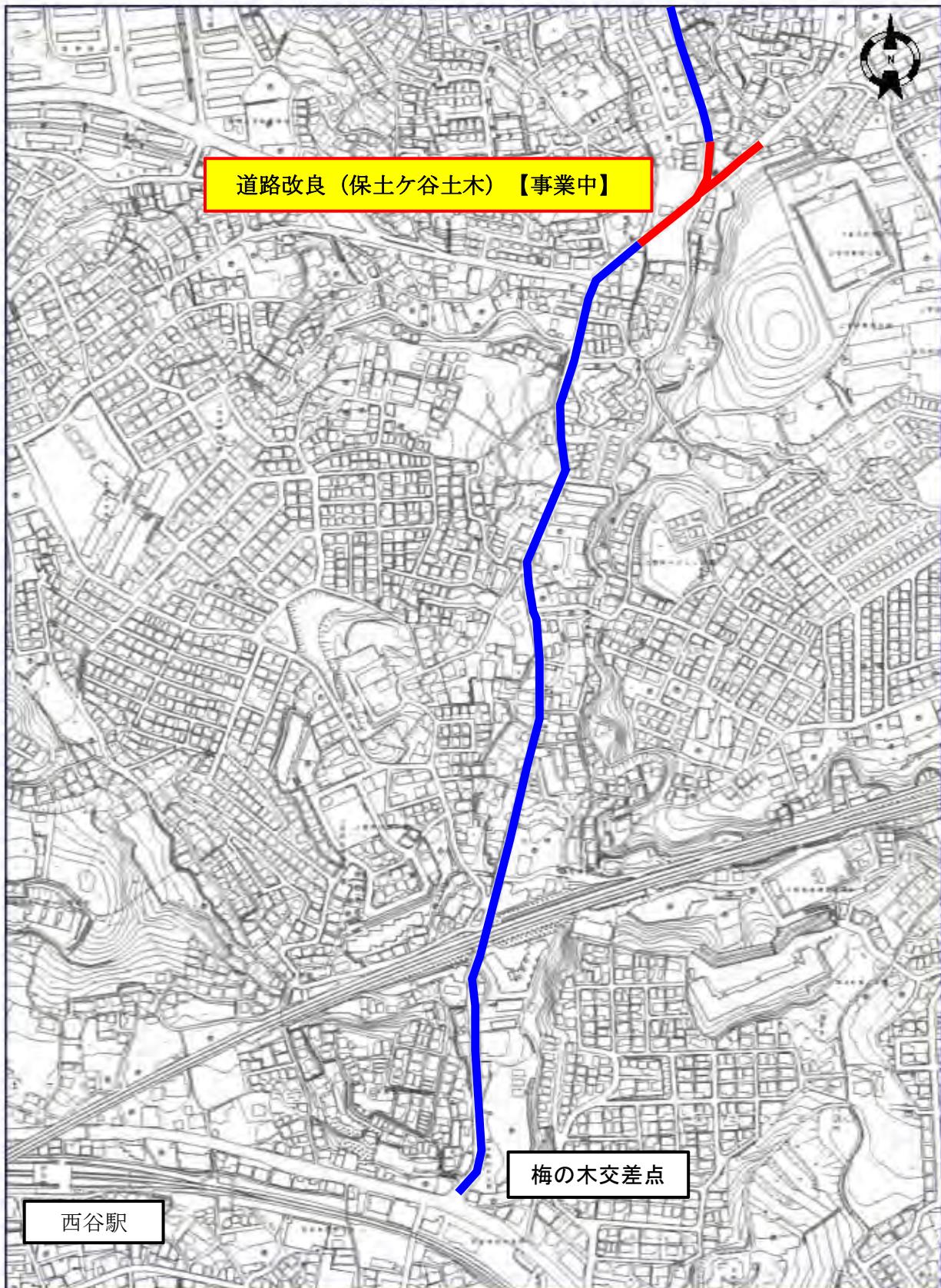
事業の進ちょく状況	事業進ちょく率%	令和元年度末までの用地取得率は 72.3%、事業進捗率は 74.5%となっています。
	74.5%	
	用地取得率%	残る必要用地は2地権者であり、そのうちの1地権者分の用地を本年度中に用地取得予定で、取得後の用地取得率は 91.8%となり、令和3年度に歩道整備工事を実施予定です。
	72.3%	
	供用等の状況	引き続き、残りの用地取得を進めるとともに、取得が完了次第、工事に着手します。
	—	

事業の課題 及び進ちょく 見込み	事業区間の多くは完了済みであり、残り2地権者との用地交渉を残すのみとなっています。1地権者との用地交渉は順調に進んでおり、既に道路区域変更を実施しています。本年度中の用地取得予定であり、来年度早期に工事を実施します。残る1地権者においても用地交渉を進め、早期に事業完了を目指します。			
その他 (コスト縮減項目等)	下水道管理者と協議・調整により、設計の際にコストを意識した施工方法の検討を行うとともに、舗装の材料に再生材を使用するなど、可能な限りコスト縮減に努めます。			
その他	特になし			
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> ・無			
対応方針	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">計画通り(上記計画を実施)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">一部見直し(上記計画を変更)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">【見直し内容】</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">中止</p>	計画通り(上記計画を実施)	一部見直し(上記計画を変更)	【見直し内容】
計画通り(上記計画を実施)				
一部見直し(上記計画を変更)				
【見直し内容】				

対応方針とした理由	<p>本事業区間は、県道青砥上星川の交通量が多く、交差点において右折待ちの渋滞発生が頻発していましたが、信号現示の変更により、渋滞は解消されました。しかし、歩道がない箇所があり、県道青砥上星川線はバスも通行も多く、車両と歩行者が近接してしまうこともあり、車両の円滑な通行に支障をきたしているばかりでなく、歩行者の安全性も損なわれている状況です。</p> <p>歩道の整備については、地元からの要望もあり、また、通学路でもあることから、平成28年10月の港南区や令和元年5月の滋賀県大津市における交通事故を受け、スクールゾーン協議会から歩道の整備を強く望まれており、事業を継続して実施する必要があると判断しています。</p>
-----------	---

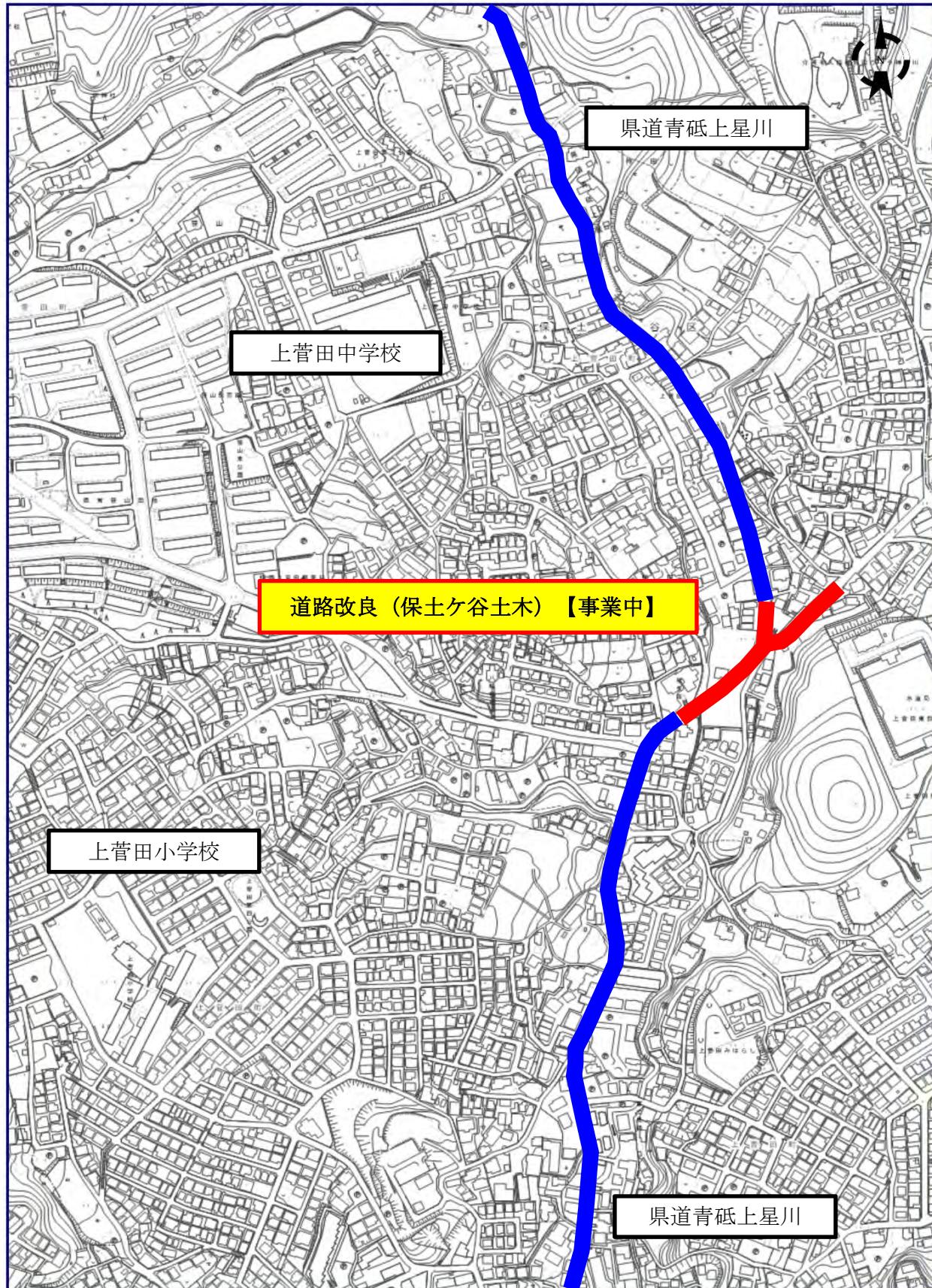


県道青砥上星川



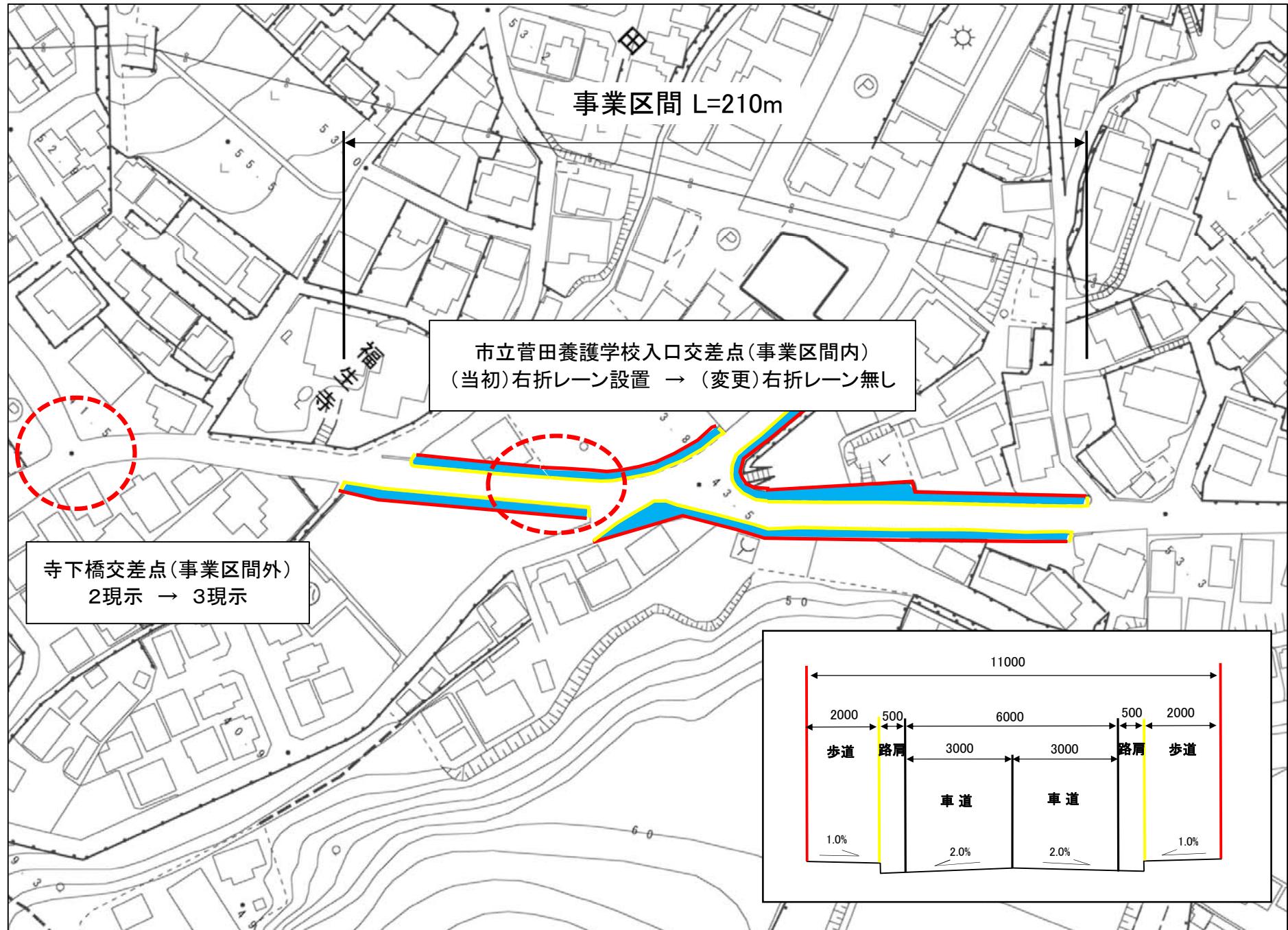
縮尺 : 1/5350

県道青砥上星川

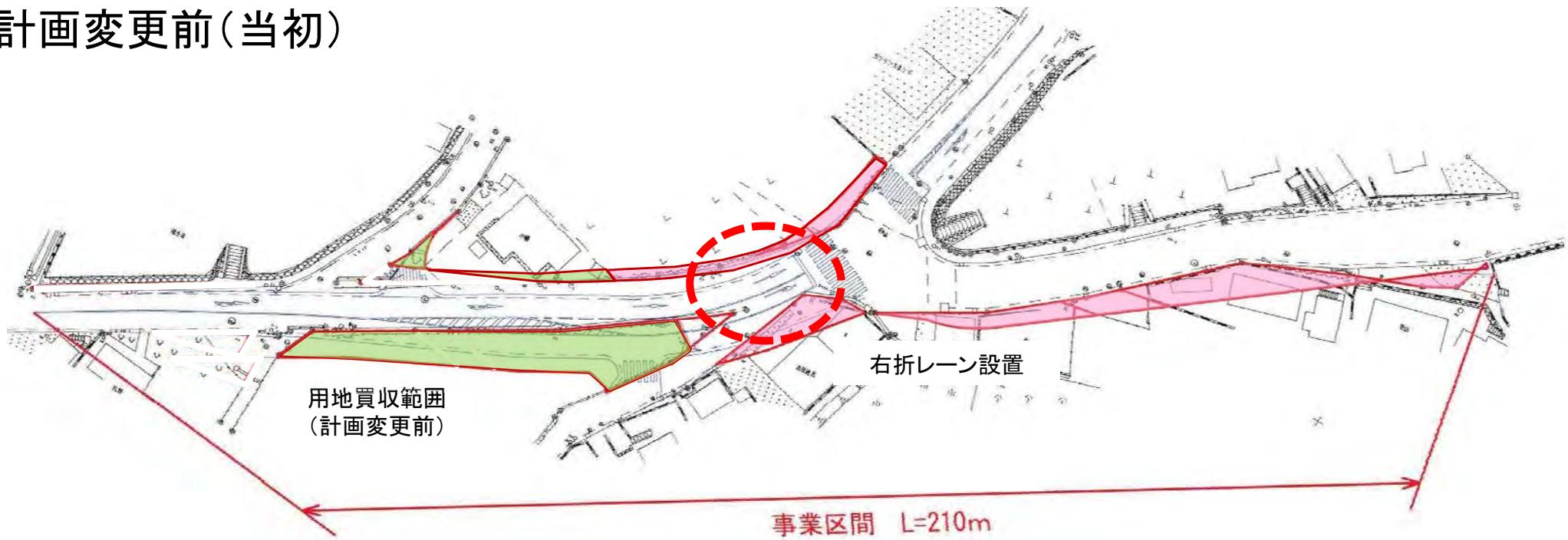


縮尺：1/5000

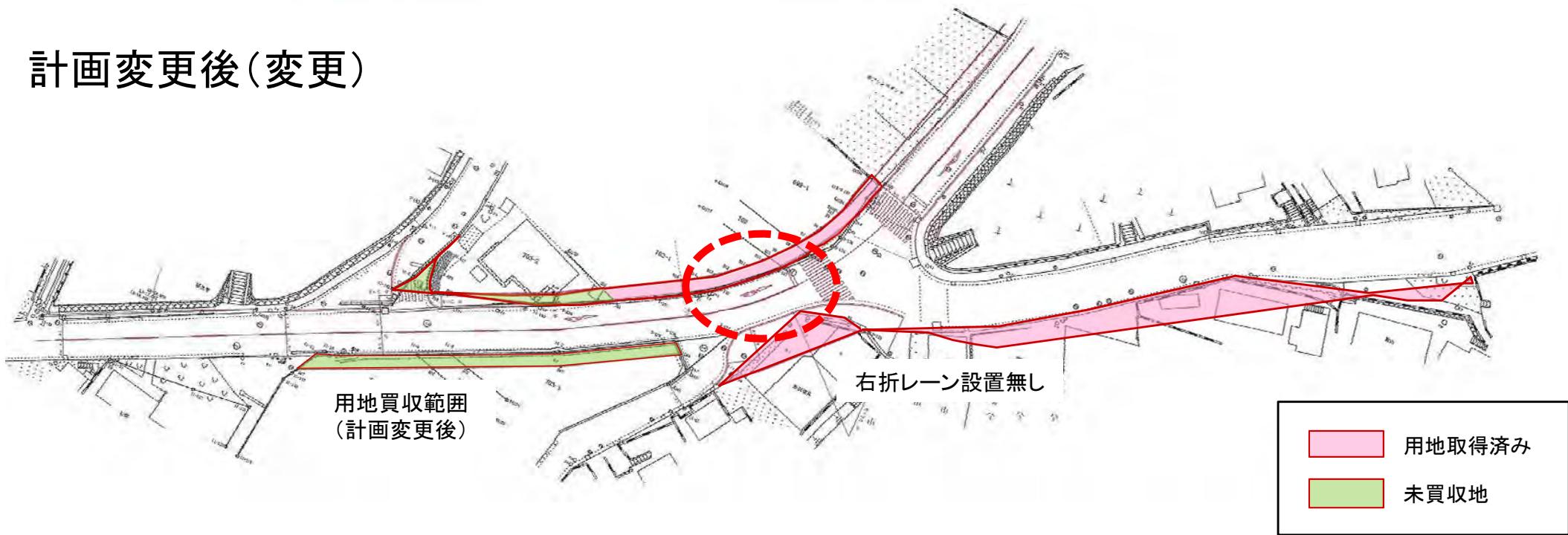
位置図



計画変更前(当初)

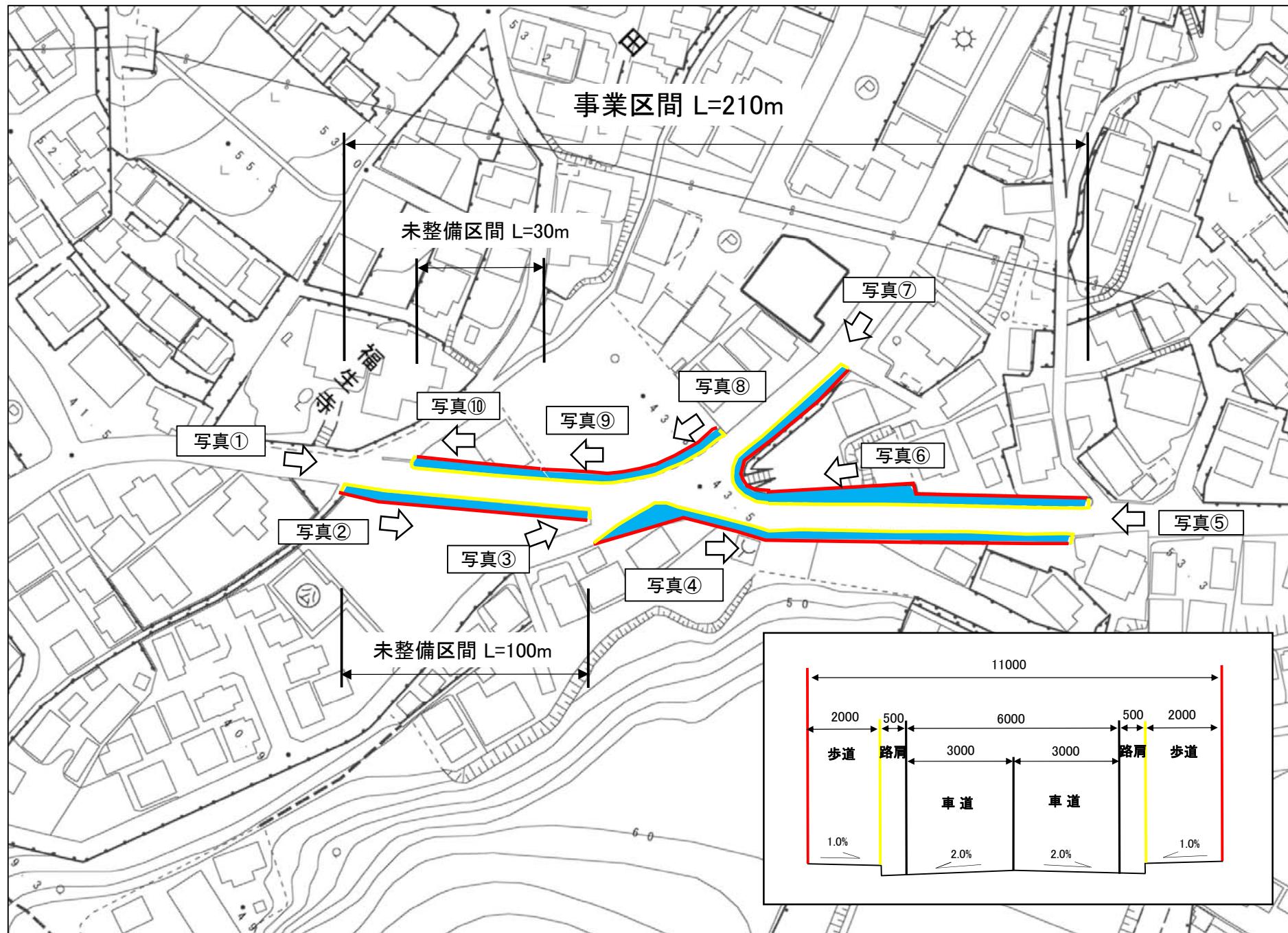


計画変更後(変更)

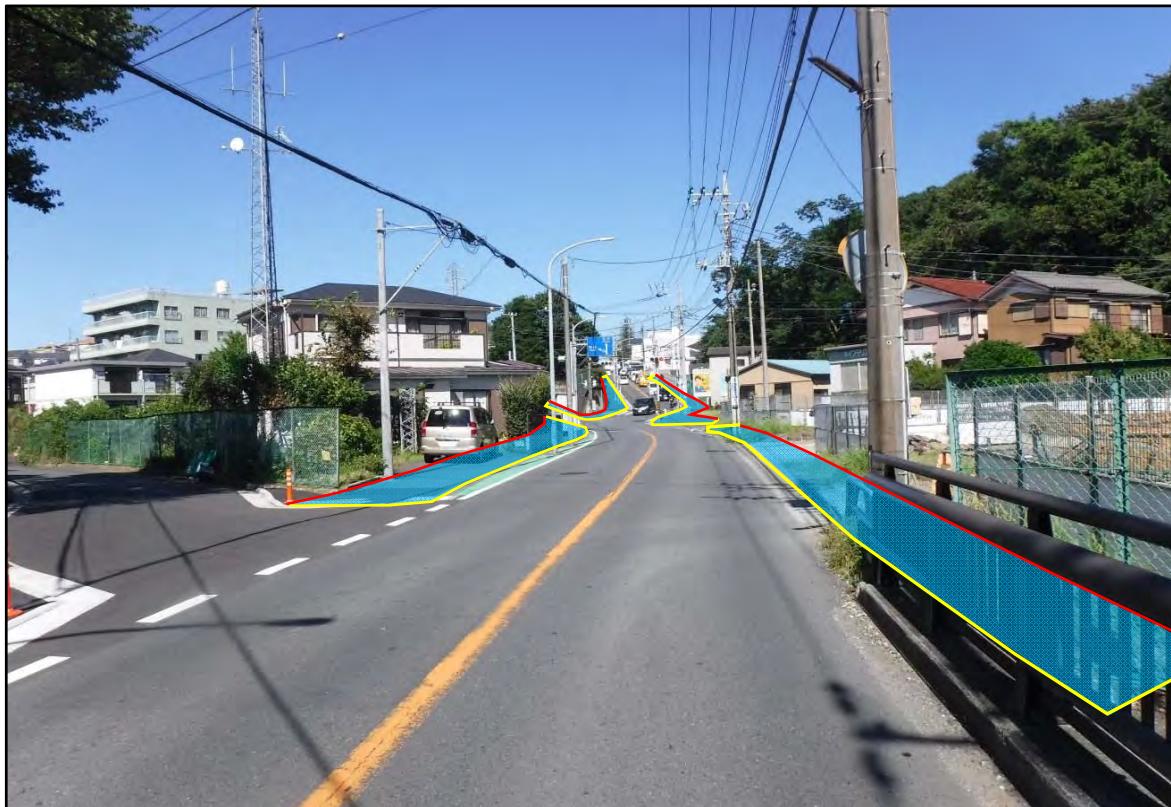


県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業

6



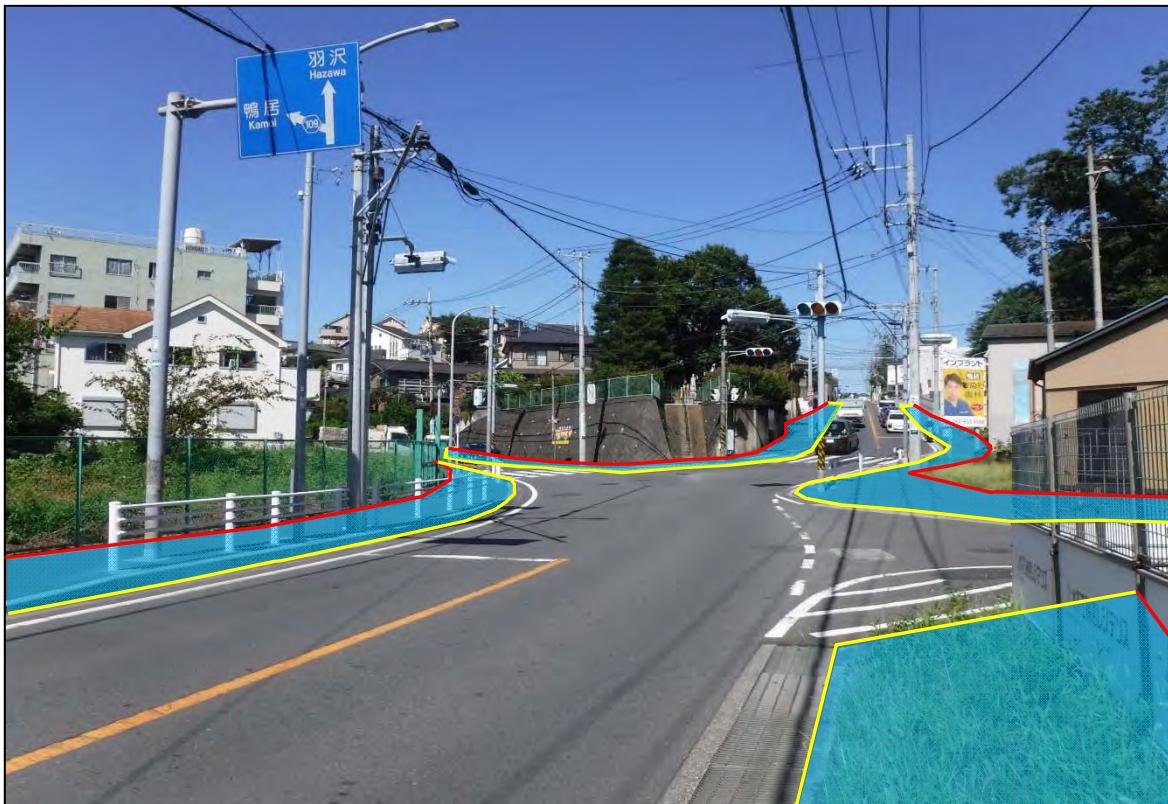
県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真①



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真②



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真③



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真④



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑤



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑥



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑦



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑧



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑨



県道青砥上星川(上菅田地区)道路改良事業 写真⑩

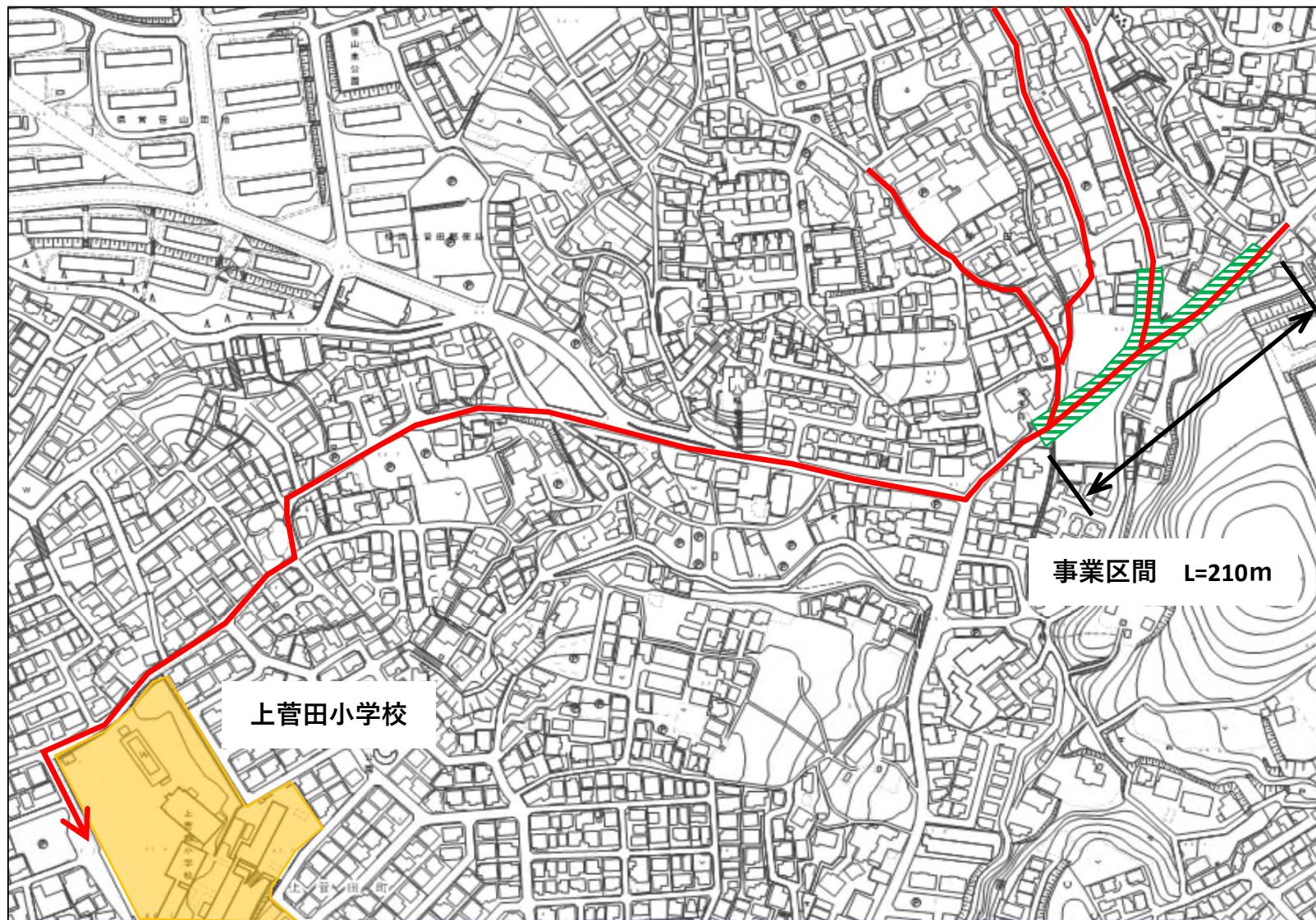


前回再評価内容との比較

	前回（H21）	今回（R2）	11年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	都市計画道路鴨居上飯田線（鴨居地区）の供用開始により、国道16号から県道川崎町田方面への新たなルートが出来たため、交通量が増加しました。危険な状況を解消するため、本地区の重要性がより高まっています。	当該区間は通学路となっていますが、歩道が整備されておらず、歩行者の安全性の確保に課題があり、スクールゾーン協議会からも歩道の整備を引き続き要望されています。	本路線での用地取得率は72%です。近隣の信号機の現示変更と秒時（信号サイクル）が変更になったことにより、右折待ちの渋滞が見られなくなり、右折レーンを廃止する計画に変更したため、必要用地が少なくなった。引き続き、歩行者の安全を確保するため、歩道の整備を進めています。
事業進捗率	41%（37%）	75%	+34%
用地取得率	54%（44%）	72%	+18%
供用等の状況	—	—	—
事業の進捗見込	平成20年度末までの用地取得進捗率は44%、事業進捗率は37%となっています。交差点から北側区間は用地取得をほぼ完了しています。	令和元年度末までの用地取得率は72.3%、事業進捗率は74.5%となっています。残る必要用地は2地権者であり、そのうちの1地権者分の用地に本年度中に用地取得予定で、取得後の用地取得率は91.8%となります。	用地取得率は前回と比べ18%進んでおり、着実に事業進捗が図られているものと考えています。 また、計画変更に伴い必要な用地も少くなり、地権者の理解も得られやすくなつたため、今後の事業進捗も図れるものと考えています。

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を（ ）で示した。

通学路図



事業区間のうち
通学路と重なる部分

→ 通学路

事業進捗状況

県道青砥上星川

(単位：百万円)

年度	単年度事業費			累計事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3
H12	6	0	6	6	0	6	2.4%	0.0%	2.4%	0	0	0.0%
H13	5	0	5	12	0	12	4.4%	0.0%	4.4%	0	0	0.0%
H14	0	0	0	12	0	12	4.4%	0.0%	4.4%	0	0	0.0%
H15	3	3	0	14	3	12	5.3%	1.0%	4.4%	32	32	5.7%
H16	3	0	3	17	3	14	6.3%	1.0%	5.4%	0	32	5.7%
H17	86	86	1	103	88	15	38.9%	33.3%	5.6%	235	267	47.9%
H18	1	0	1	104	88	16	39.3%	33.3%	6.0%	0	267	47.9%
H19	4	3	1	108	91	17	40.8%	34.4%	6.4%	32	299	53.7%
H20	0	0	0	108	91	17	40.8%	34.4%	6.4%	0	299	53.7%
H21	0	0	0	108	91	17	40.8%	34.4%	6.4%	0	299	53.7%
H22	10	0	9	118	91	26	44.4%	34.5%	9.9%	3	302	54.1%
H23	19	0	19	136	91	45	51.4%	34.5%	16.9%	0	302	54.1%
H24	0	0	0	136	91	45	51.4%	34.5%	16.9%	0	302	54.1%
H25	22	19	2	158	111	47	59.6%	41.8%	17.8%	95	397	71.3%
H26	30	1	29	188	112	76	70.9%	42.1%	28.8%	6	403	72.3%
H27	0	0	0	188	112	76	70.9%	42.1%	28.8%	0	403	72.3%
H28	0	0	0	188	112	76	70.9%	42.1%	28.8%	0	403	72.3%
H29	4	0	4	192	112	81	72.5%	42.1%	30.4%	0	403	72.3%
H30	2	0	2	194	112	83	73.3%	42.1%	31.3%	0	403	72.3%
R1	3	0	3	198	112	86	74.5%	42.1%	32.5%	0	403	72.3%
合計	198	112	86							403		

事業進捗状況 県道青砥上星川

